

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	ウィズ・ユー座間		
○保護者評価実施期間	2024年 2月 1日	～	2024年 2月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2024年 2月 1日	～	2024年 2月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○訪問先施設評価実施期間	2024年 2月 1日	～	2024年 2月 29日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援実施後に保護者さまへ支援内容の共有をはかるため、報告書を作成し、支援の振り返りを行い、次回へつなげています。	支援実施後に保護者さまに支援報告書を作成し、お渡ししています。報告書では、お子さまの行動の背景・関わり等を分析し、今後の支援方針をより具体化できるように検討したり、課題の把握や、より具体的な関わり等を提示、提案等出来るようにしていきます。お子さまの望ましい姿、先生方の適切な関わりについても振り返りを行い、今後の支援に結んでいくことが出来るように取り組んでいます。	訪問先学校、おこさまの環境について、さらに丁寧にアセスメントを行っていき、内容をより具体的にお子さまの姿へとつなげ、保護者さま訪問先学校の先生方とも共有し、実際の支援にも生かしていきます。
2	訪問先学校の状況を把握し、実施開催に無理のないように行っています。	普段より連絡を取り、話し合いを重ねていくことで、訪問先のご負担とならないように、無理のない実施を心掛けています。	学校や地域の開かれた期間の際などにも、足を運び、印象を残しておくことも大切です。
3	計画的に行う提示された内容支援を行っていくのではなく、客観的・多角的に捉えた支援を強みとしています。	保護者参観とともにや学校へ行こう週間・学校行事など・教室の授業だけでなく、様々な角度からの観察見学に時間をかけ、放ディ・家庭とも違うありのままの姿に出会える機会を持てるように支援計画を考えています。	放ディとも家庭とも違う側面を見つけていくことで、落ち着いて考えていく機会を失うことがないようにしていくことです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な実施を行っていくための準備をより行っていくことが必要となってきます。	訪問先の予定を一番にと貫っているところがあり、なかなか予定が立たないことが多くあり、実施に結ぶことが出来ないことがあります。	次回へ毎回確実につながるように、直近での実施開催のアポイントメントを取っていく機会を失わないようにしていくことが必要です。
2	お子さまの様子やご家庭の状況も踏まえて、家族支援について個別的に対応をさせていただいているが、保護者向けの研修、保護者さま、兄妹さまの交流の機会を積極的に設けることが出来ていません。	日々の送迎や多機能型の良いところを重んじていると、なかなか研修等の開催が難しく、取り組みが繋がらないことがあげられると思います。また具体的に・個別でとばかり考えていると集団生活での交流や研修、問い合わせや相談等に進みにくいことも挙げられます。	実施・開催のタイミングを考え、個別ではなく、全体への投げかけをし、保護者さま、兄妹さま同士の交流をする機会を設けるなど、ニーズの把握も含めながら、実施方法について工夫・検討をしていきます。